

「忘れられない日々」

史暁芸 (シ ギョウウン)

皆さん、こんにちは。史暁芸と申します。日体大柏高校の1年生です。留学生として初めて外国に来てもうすぐ一年になりますが、私には、私を成長させてくれた忘れられないことがたくさんあります。

留学前、私はいくつかの日本の高校を見学に行きました。そしてある高校の太鼓のパフォーマンスに驚かされました。メンバーたちの力強く太鼓を打つ真剣な姿、その音につられて振動していた地面、私は、日本の高校生の溢れる活力を肌で感じました。彼らの一生懸命な姿がいつまでも忘れられず、「日本の高校に入りたい」という気持ちがどんどん大きくなりました。そしてついに日本留学を決心しました。

高校に入ってみて私はあることに気付きました。日本では多くの学生が部活に入っているということです。中国の高校では部活がありません。ですから、いろいろな部活があるのに驚き、私も何かやってみたいと思いました。ある日、放送部がお昼の校内放送をしているのを聞き、「かっこいい！」と思い、放送部に入ることにしました。私は放送の経験がまったくない上に、日本語も上手ではないので、最初はとても不安でした。それでも、お昼の校内放送を何度か経験して、毎回放送が終わると先輩達が「上手い」と言ってくださいましたから、不安がどんどん消えていきました。しかし、それは本当に良くできたのではなく、私に対する善意の嘘であることは分かっています。でも、いつも皆さんが許して励ましてくださるので、有り難いと思って、もっともっと頑張ろうという気持ちになります。

それ以外にも、中国では経験したことがないイベントがあります。例えば、文化祭です。私のクラスでは、板とキャスターをつけたパイプを組み合わせて、遊園地のコーヒーカップを作りました。それに蜂蜜とプーさんが描かれたダンボールを使って周りを飾り、ハニーカップにしました。これを人力で回しましたから、本当に疲れましたが、乗った人が喜ぶのを見て、私もとても嬉しかったです。その素敵なハニーカップで、うちのクラスは校

長特別賞を獲得しました。私はその時のみんなの笑顔が忘れられません。

中学生の時、私は毎日何も考えずに一生懸命勉強してきましたが、そのような生活の意味がよくわからなくて、「私の人生には勉強以外に有意義な生活があるのだろうか」と思っていました。しかし、日本の高校に入り、学校ではただ勉強するだけではなく、部活や様々な活動があり、勉強とスポーツを両立させる「文武両道」という考えもあることがわかりました。私はこの一年間で「郷に入っては郷に従え」の意味もわかってきて、周りの人たちと積極的に交流し、仲間もできました。そしていろいろな活動を通して、中国の学生とは違う日本の高校生のパワーと情熱をひしひしと感じ、忘れられない楽しい日々を過ごしました。不慣れで戸惑うこともまだまだありますが、それがかえって留学生活を楽しくしてくれています。留学は私の人生を豊かで有意義なものにしてくれました。ですから、私はこれからも色々なことに挑戦して、もっともっと素晴らしい未来、「忘れられない日々」に出会いたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。